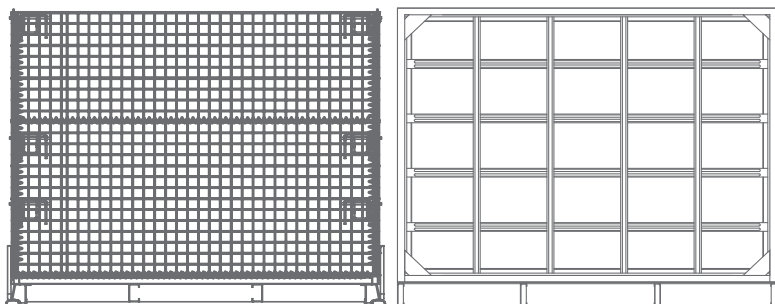


メッシュコンテナ スチールコンテナ

取扱説明書



セイカン株式会社

We say, We can.

□ 札幌支店(本社)

004-0003 札幌市厚別区厚別東3条3丁目14番35号
tel 011-809-4122 fax 011-809-4121

□ 帯広支店

089-0542 中川郡幕別町札内春日町89
営業部 tel 0155-56-3535
サービス部 tel 0155-56-3110 fax 0155-56-3136

□ 旭川営業所 ファームランドJAびえい店

071-0207 上川郡美瑛町中町2丁目1番地32号
tel 0166-92-3455 fax 0166-92-3488



<http://www.h-seikan.co.jp>

INDEX

—— メッシュコンテナ ——

各部の名称・仕様	4
組み立て方	5
保管方法	8
移送（輸送・運搬）	10
こんなときは	11
ホッパーコンテナ POP-0 シリーズ 取扱注意書	12
点検項目	13

—— スチールコンテナ ——

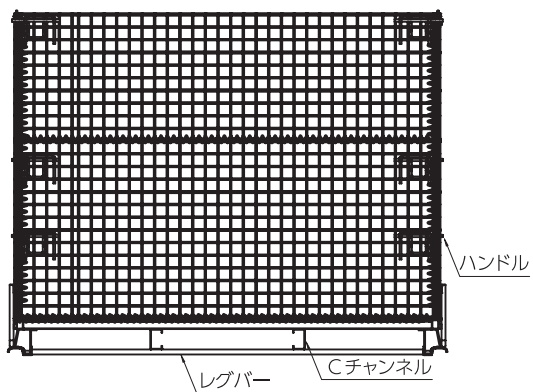
各部の名称・仕様	14
組み立て方	15
保管方法	18
移送（輸送・運搬）	20
こんなときは	21
ホッパーベース SP シリーズ 取扱注意書	22
点検項目	23



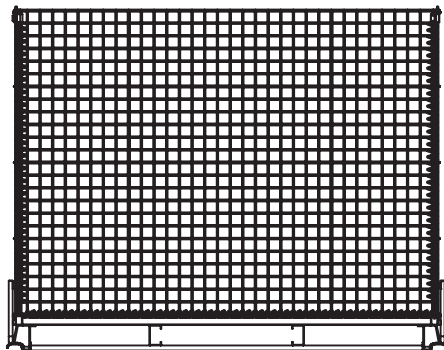
警告 死亡、重大なケガの恐れあり
注意 ケガや本体の破損の恐れあり

メッシュコンテナ 各部の名称・仕様

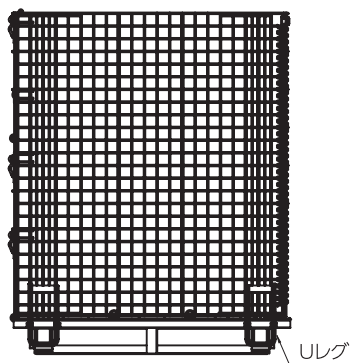
前パネル



後パネル

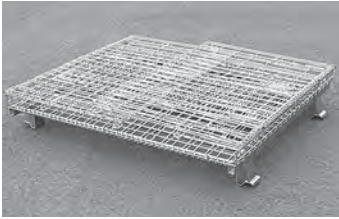


横パネル



組み立て方

前後全開タイプ



1

コンテナを平らな地面に置いてください。



警告

斜面や凹凸のある面に置くと、コンテナを組む際にバランスが悪く、コンテナが倒れて負傷する恐れがあります。



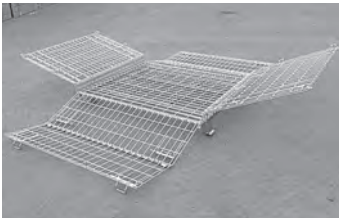
2

横パネルを開きます。



警告

勢いをつけて横パネルを起こさないでください。



3

前後パネルを開きます。



4

前後パネルを横パネルのハンドル受けにはめ込み、ハンドルを掛けて固定します。



5

前後パネル両面とも横パネルのハンドル受けにはめ込み、ハンドルを掛けて固定します。



警告

上から順にハンドルを掛けてください。下から掛けると、上側が倒れて負傷する恐れがあります。

組み立て方

全開タイプ



1 コンテナを平らな地面に置いてください。



警告

斜面や凹凸のある面に置くと、コンテナを組む際にバランスが悪く、コンテナが倒れて負傷する恐れがあります。



2 後パネルを起こします。



警告

勢いをつけて後枠を起こさないでください。また、起こした大枠によりかからないでください。コンテナが倒れて負傷する恐れがあります。



3 前パネルを起こします。



4 横パネルを開きます。



5 前パネルを起こし、横パネルのハンドル受けにはめ込み、ハンドルを掛けて固定します。

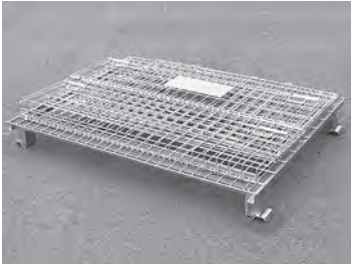


警告

上から順にハンドルを掛けてください。下から掛けると、上側が倒れて負傷する恐れがあります。

組み立て方

半開タイプ



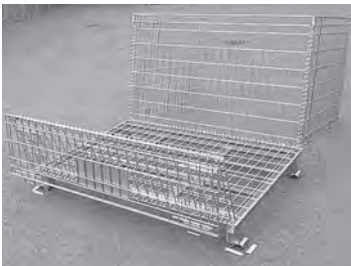
1

コンテナを平らな地面に置いてください。



斜面や凹凸のある面に置くと、コンテナを組む際にバランスが悪く、コンテナが倒れて負傷する恐れがあります。

警告



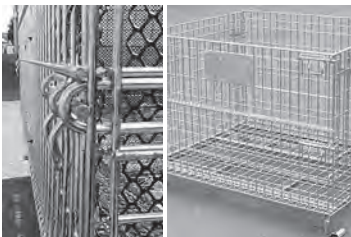
2

前後パネルを開きます。



3

横パネルを前側に起こし、ベースの上に乗せます。



4

前パネルを起こし、横パネルのハンドル受けにはめ込み、ハンドルを掛けて固定します。



上から順にハンドルを掛けてください。下から掛けると、上側が倒れて負傷する恐れがあります。

警告

保管方法

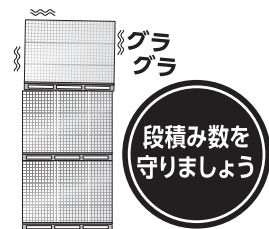
①組んだ状態

Sレグの爪を横パネルに載せて段積みします。

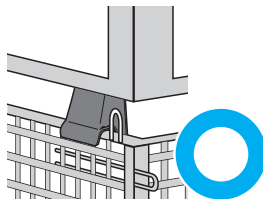


警告

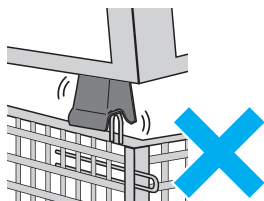
所定の段積み数を守ってください。



段積みの際はSレグが横パネルに掛かる様に積んでください。



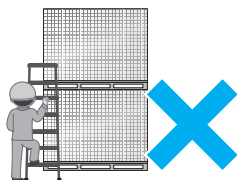
Sレグをズレ止めの上や外側に載せないでください。



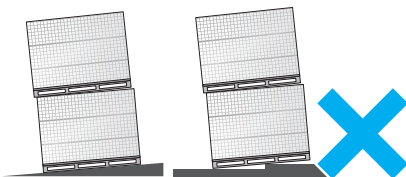
段積みの際はパネルの上下を閉じてください。



段積みしたコンテナにはしごを掛けたり、よじ登ったりゆらしたりしないでください。



段差、傾斜、凹凸のある床面や、軟弱地面上で段積みしないでください。



保管方法

② 畳んだ状態



段積みしたコンテナにはしごを掛けたり、よじ登ったりしないでください。

Uレグ 有

Sレグの先端をUレグの上に載せて段積みします。最大20段積み。

※段積み可能基数は機種により異なりますのでお問い合わせください。



四隅のSレグが確実にUレグの上に載っていることを確認してください。1ヶ所でも外れていると、段積みした際に斜めになり、倒壊の危険があります。

Uレグ 無

畳んだコンテナの上に直接段積みします。最大10段積み。

※段積み可能基数は機種により異なりますのでお問い合わせください。



重心を確実に合わせ、5段ごとにスチールバンドで固定してください。

Sレグ ポケット

畳んだ際、横パネルに計4ヶ所空いた穴(ポケット)にSレグをはめ込んで段積みします。最大20段積み。

※段積み可能基数は機種により異なりますのでお問い合わせください。



四隅のSレグが確実にSレグポケットに入っていることを確認して段積みしてください。

移送(輸送・運搬)

①フォークリフト、②トラックなど、その他

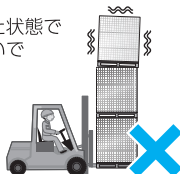
警告

①フォークリフト

ワイヤー、スリングなどで吊らないでください。



段積みした状態で運搬しないでください。



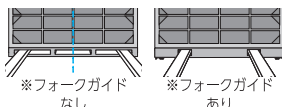
運搬時はフォークリフトの爪を深く、爪の先端がコンテナから出るように挿してください。



コンテナを持ち上げる際は、必ず爪の先端を持ち上げてください。水平よりも前傾するとコンテナが爪から滑り落ちる危険があります。



フォークリフトの爪を広げ(フォークガイドが付いているものは、爪の幅をフォークガイドの幅に合わせてください)、重心が偏らないよう、コンテナの両端に挿してください。また内容物も極力ならして、重心が偏らないようにしてください。

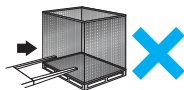


フォークリフトで持ち上げたコンテナの下には絶対に入らないでください。

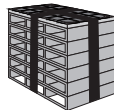


②トラックなど

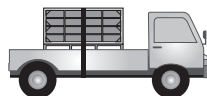
コンテナを格納・積み込みする際、フォークリフトの爪で押し込むと、コンテナが破損したり、トラックの荷台を傷める恐れがあるためお止めください。



畳んだ状態のものを段積みで積載する際は、倒壊の恐れがあるため、スチールベルトで固定してください。

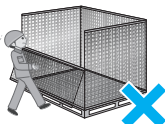


畳んだ状態、組んだ状態を問わず、輸送する際は、スリングベルトなどで固定してください。



●その他

所定のパネルを開閉する際は、内容物が崩れ落ちる可能性があるので開閉面の前に立たないでください。段積み数を守ってください。



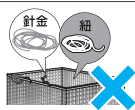
フォークガイドがないコンテナや、ベース両端に旋回用のCチャンネルのないコンテナはフォークリフトで旋回させないでください。



移動、旋回、パネル開閉、段積みなどの作業中は、周囲に人やモノがないことを確認の上、作業を行ってください。



破損箇所をヒモや針金などで代用しないでください。



脚部が破損・変形していたり、溶接が外れているコンテナを絶対に使用しないでください。



コンテナが段積みされていても、傾斜やズレ、地震などにより倒壊する恐れがありますので注意してください。

コンテナの段積みや段降ろしは、必ずフォークリフトで行ってください。

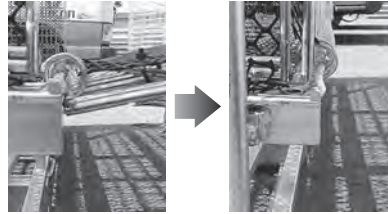
こんなときは

前パネル、横パネルのトラブルに

●前パネルの下扉が閉じない

下扉がコイル内のストッパーを越えて手前下に落ちていると前パネルが閉じません。

⇒前パネルを持ち上げて、ストッパーの内側に戻してください。



●前パネルの上扉が閉じない

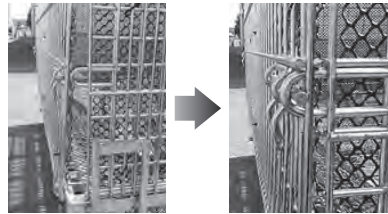
上扉がコイル内で下扉を越えて手前下に落ちていると上扉が閉じません。

⇒前パネルを持ち上げて、下扉の上側に戻してください。



●横パネルのハンドル受けが前パネルに届かず、ハンドルを挿せない

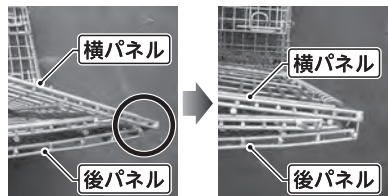
⇒横パネルを引き寄せてください。



●横パネルが開かない/閉じない

横パネルがコイル内で後パネルより後にあると上手く開閉できない可能性があります。

⇒横パネルを手前に引き寄せながら開閉してください。



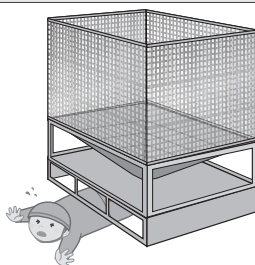
ホッパーコンテナ POP-0 シリーズ

取扱注意書

組み立て方や使用方法は『メッシュコンテナ』の
取扱説明書をご覧ください。
以下には、ホッパーコンテナ特有の注意点を記します。

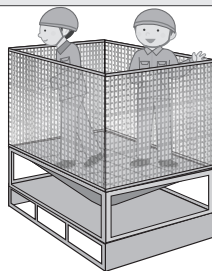
警告

ホッパーコンテナの下に
入らないでください。



注意

ホッパーコンテナの中に
入らないでください。

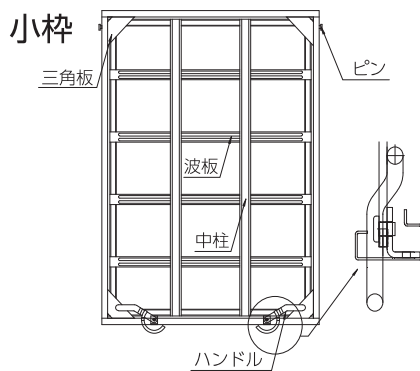
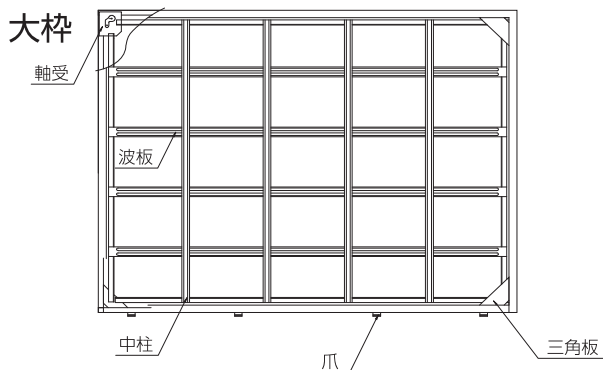
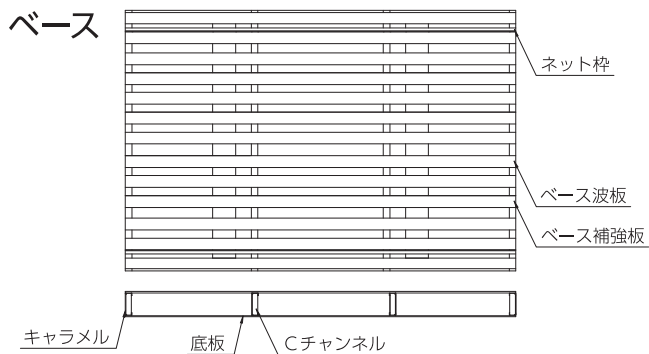


点検項目

メッシュコンテナは使用回数や使用環境によって、劣化・破損・摩耗していく箇所も多く定期的な点検が必要です。点検は使用前に必ず行ってください。

前後パネル・ サイドパネル の点検	各箇所の溶接は外れていないか
	湾曲している鋼材はないか
	緩衝用ネットは破断していないか(付いている場合)
	ハンドルは落脱していないか
	ヒンジロックは落脱していないか、開いていないか
	ステップル(ハンドル受け)は落脱していないか
	サイドパネル上部のズレ止めは落脱していないか
	前パネルがストッパーから外れていないか
ベース	各箇所の溶接は外れていないか
	湾曲している鋼材はないか
	段積ブラケット(Uレグ)は外れていないか
	段積ブラケット(Uレグ)にクラックはないか
	脚部(Sレグ)は曲がっていないか
	各部(Sレグ)にクラックはないか

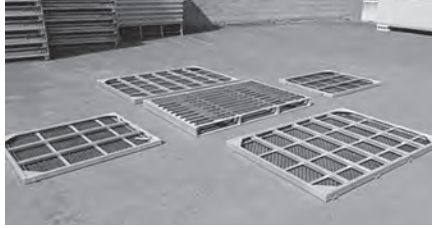
スチールコンテナ 各部の名称・仕様



組み立て方

組み立てタイプ ①

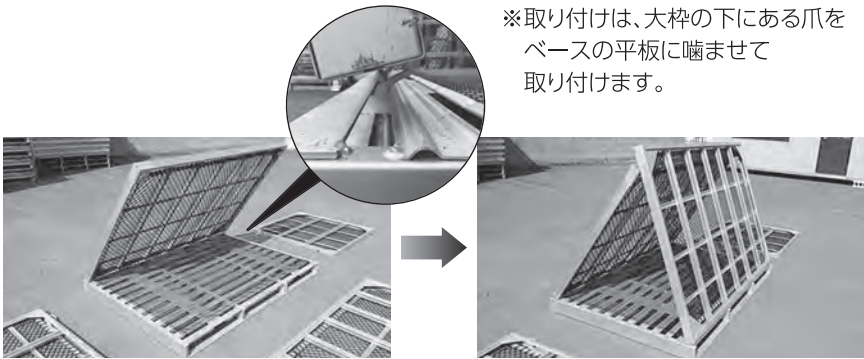
1 ベースを平らな面に置いてください。



警告

斜面や凹凸のある面に置くと、大枠を組んだ際に大枠が倒れ、
負傷する危険があります。

2 大枠を片面ずつ取り付けます。



※取り付けは、大枠の下にある爪を
ベースの平板に噛ませて
取り付けます。



警告

噛みが甘いと、倒れる可能性があり、大変危険です。
怪我の原因となるため、組み立ての際には必ず手袋をはめてください。
※組み立てにあたっては二人作業をお勧めします。

組み立て方

組み立てタイプ ②

- 3 小枠の両側についているピンを、大枠の軸受け穴に引っ掛けて取り付け、ハンドルを閉めます。



警告

小枠を取り付ける際に、大枠の動きに注意してください。
小枠を取り付けている際に倒れて来る恐れがあります。



組み立て方

折り畳みタイプ



- 1 ベースを平らな面に置いてください。



- 2 小枠を立ち上げた後に大枠(後面)を立ち上げハンドルで固定します。



ハンドルの挿入が浅いと、ハンドルが外れて大枠や小枠が倒れる可能性があります。大変危険です。



- 3 大枠(前面)も立ち上げてハンドルで固定します。
中折れタイプの場合は下側からハンドルで固定してください。



完成

保管方法

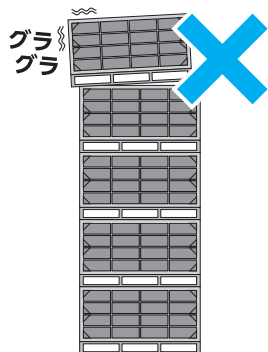
①組んだ状態

所定の段積み数を守ってください。



警告

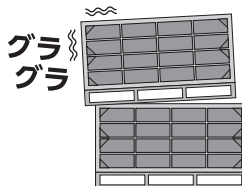
段積み可能数を超えて段積みしないでください。倒壊の恐れがあります。



段積みの際は、ズレのないよう、またハンドルや爪が外れていないことを確認の上、積んでください。ズレたり、ハンドルや爪が外れていると、バランスが悪くなり、倒壊の恐れがあり、大変危険です。

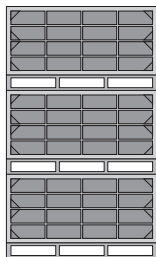


寸法の異なるコンテナを段積みしないでください。バランスが悪くなり、倒壊の恐れがあり、大変危険です。

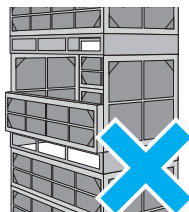


注意

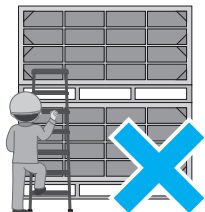
ズレのないように、確実に載せてください。



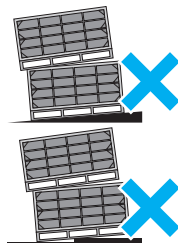
段積み時に中折枠や小枠を開かないでください。



段積み時は、コンテナにはしごを掛けたり、よじ登ったりゆらしたりしないでください。



段差、傾斜、凹凸のある床面や、軟弱地面上で段積みしないでください。



保管方法

②各面分解した状態 —どちらかで対応してください—

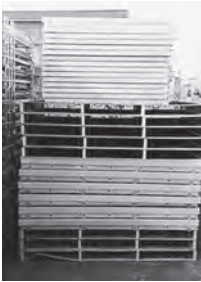
①各パネルごとに重ねるか、②1基ごとに重ねます



警告

①各パネルごとに重ねる場合

バランスが悪くなり倒壊の危険があるため、小枠の上に段積みをしないでください。



※小枠は
一番上に積む



②1基ごとに重ねる場合

バランスが悪くなり倒壊の危険があるため、小枠は2枚縦に重ねて積まず、並列に置いてください。

またその際は互いのピンが干渉しないよう、互い違いに置いてください。



移送(輸送・運搬)

①フォークリフト、②トラックなど、その他

警告

①フォークリフト: コンテナの段積みや荷卸しは、必ずフォークリフトで行ってください。

ワイヤー、スリングなどで吊らないでください。



段積みした状態で運搬しないでください。



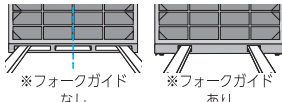
運搬時はフォークリフトの爪を深く、爪の先端がコンテナから出るように挿してください。



コンテナを持ち上げる際は、必ず爪の先端を持ち上げてください。水平よりも前傾するとコンテナが爪から滑り落ちる危険があります。



フォークリフトの爪を広げ(フォークガイドが付いているものは、爪の幅をフォークガイドの幅に合わせてください)、重心が偏らないよう、コンテナの両端に挿してください。また内容物も極力ならして、重心が偏らないようにしてください。



フォークリフトで持ち上げたコンテナの下には絶対に入らないでください。

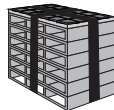


②トラックなど

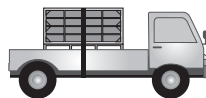
コンテナを格納・積み込みする際、フォークリフトの爪で押し込むと、コンテナが破損したり、トラックの荷台を傷める恐れがあるためお止めください。



バラでの状態で積載する際は、倒壊の恐れがあるため、スチールベルトで固定してください。

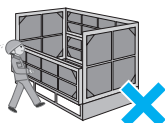


バラでの状態、組んだ状態を問わず、輸送する際は、スリングベルトなどで固定してください。



●その他: コンテナが段積みされていても、傾斜やズレ、地震などにより倒壊する恐れがありますので注意してください。

パネルを開閉する際は、内容物が崩れ落ちる可能性があるので開閉面の前に立たないでください。



フォークガイドが付いていないコンテナや、ベース両端に旋回用のCチャンネルのないコンテナはフォークリフトで旋回させないでください。



旋回時、パネル開閉時は周囲に人やモノがないことを確認の上、作業を行ってください。



破損箇所をヒモや針金などで代用しないでください。



脚部が破損・変形していたり、溶接が外れているコンテナを絶対に使用しないでください。

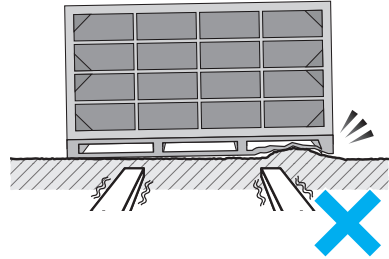


こんなときは

爪・ハンドルが入らない

●爪が入らない

ベースを置いた床面に凹凸があると平板が歪み、爪が入らない可能性があります。
凹凸のない平面に置いて組み立ててください。

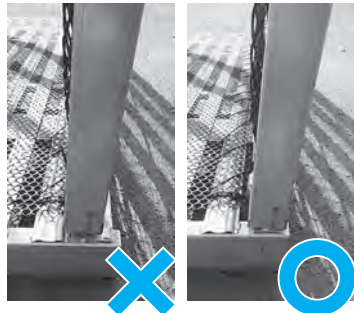


●ハンドルが入らない

小枠のピンが、大枠の軸受け穴の下端までしっかり入っているか確認してください。
軸がしっかり掛かっていないとハンドルが掛かりません。



大枠の爪がベースの平板にしっかり掛かっているか確認してください。
爪が平板に掛かっていないとハンドルが掛かりません。



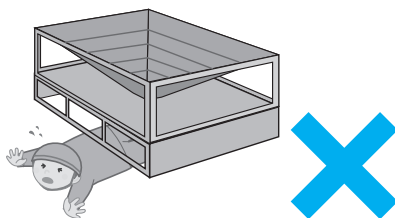
ホッパーベース SP シリーズ

取扱注意書

組み立て方や使用方法は『スチールコンテナ』の
取扱説明書をご覧ください。
以下には、ホッパーコンテナ特有の注意点を記します。

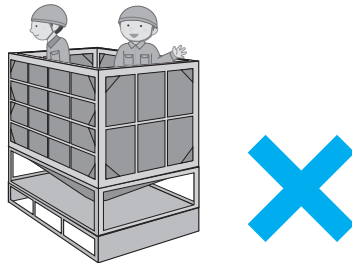
警告

ホッパーコンテナの下に
入らないでください。



注意

ホッパーコンテナの中に
入らないでください。



点検項目

スチールコンテナは使用回数や使用環境によって、劣化・破損・摩耗していく箇所も多く定期的な点検が必要です。点検は使用前に必ず行ってください。

大枠・小枠の 点検	各箇所の溶接は外れていないか
	湾曲している鋼材はないか
	緩衝用ネット・トワイン(紐)は破断していないか
	小枠のハンドルは外れていないか
	小枠のピンは落脱していないか
	大枠の爪は落脱していないか
	(中折れ式の場合)大枠の上部ハンドルは外れていないか
ベース	各箇所の溶接は外れていないか
	湾曲している鋼材はないか

